

新電力一括見積サービス

最大54社に見積りで電気代金を最大52.3%削減

費用は一切発生しません。

新電力とは

電力小売自由化により生まれた電力を買う会社を切り替えるだけで電気費用が安くなるサービスです。

大手電力会社の送電網を借りてお客様に電気を届けますので、電気の質・安定性は一切変わりありません。

停電時やトラブル時も今までと同じ電力会社のバックアップシステムが起動しますので一切変わりません。



電力小売自由化の歴史

最初の小売自由化は、2000年3月に始まりました。はじめは、「特別高圧」区分の大規模工場やデパート、オフィスビルが電力会社を自由に選ぶことができるようになり、新規参入した電力会社「新電力会社」からも電気を購入することが可能になりました。

その後、2004年4月・2005年4月には、小売自由化の対象が「高圧」区分の中小規模工場や中小ビルへと徐々に拡大していきました。

そして2016年4月1日からは「低圧」区分の家庭や商店などにおいても電力会社が選べるようになりました。

ただ、お客様からは現在は数百社もあると言われる新電力会社はプランも各社違う為にどの新電力会社を選んだら良いのかわからないという声が多くなっています。

そういった中で新電力の一括見積サービスはお客様の削減効果が最大値になる新電力会社を手間をかけずに選定できますので非常に人気のあるサービスとなっています。

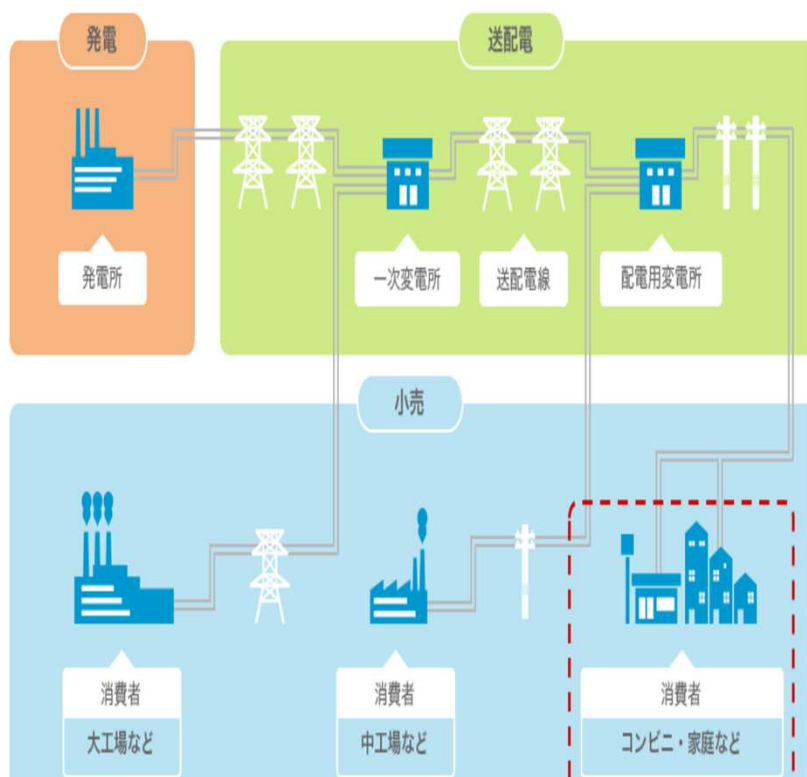


電力供給の仕組み

電力の供給システムは発電部門、送配電部門、小売部門（新電力会社は小売部門にあてはまります。）の大きめに3つの部門に分類されます。

そして電力は下記の図の通り、発電所→送電線→変電所→配電線の経路をたどり、各企業やご家庭まで供給されています。

<図>



発電部門はすでに原則参入自由ですが、送配電部門は安定供給を担う要のため、電力小売全面自由化後も引き続き、政府が許可した企業（各地域の電力会社（東京電力、関西電力等））した担当できない定めがあります。

そのため、どの小売事業者（新電力会社）から電気を買っても、これまでと同じ送配電ネットワークを使って電気は届けられるので、電気の品質や信頼性（停電の可能性など）は変わりません。

なお、電気の特性上、電気の需要（消費）と供給（発電）は、送配電ネットワーク全体で一致させないと、ネットワーク全体の電力供給が不安定になってしまいます。そのため、もし小売部門の事業者が、契約している消費者が必要とするだけの電力を調達できなかった場合には、送配電部門の事業者がそれを補い、消費者にきちんと電力が届くように調整される仕組みとなっています。

新電力一括見積りサービスの特徴



**最大54社の新電力会社に対して
見積り依頼をします。**

エリアや電気使用料によって最大値で削減が可能な最適な新電力会社のお見積書をご提示します。



**新電力への切替費用は一切発生
しません。**

切替費用はもちろんですがお見積書の作成費用も含めて全て無料です。ご安心してご依頼ください。



**法人の方でも個人の方でもお見
積りのご依頼可能です。**

特別高圧、高圧電力、低圧電力、従量電灯、新電力で現在契約中の方、他社で断られた方でもご依頼ください。



**電気代金を最大52.3%削減の実
績があります。**

現在のお客様がご契約しているプランや電気使用料によって削減額は異なりますが、70%以上のお客様が電気代金10%以上の削減となっています。



**新電力会社の定期的な見直し依
頼も可能です。**

今後も新たな新電力会社が増える事は予想されています。切り替え後も定期的に一括見積りを依頼していただく事で削減額の損失を防ぎます。



**電気の品質は変わらず、全国
のお客様でご依頼が可能です。**

新電力に切り替えをしても地域電力会社の送電網を利用して電気を安定供給しますので停電時のバックアップ体制など今までとにも変わりません。お申込みエリアに関しては沖縄と離島を除くすべてのエリアでご依頼いただけます。

電気料金の削減事例

オフィスビル

契約電力合計：91kW

使用電力量合計：132,504kWh/年間

変更前電気料金合計：373万円/年間

変更後電気料金合計：298万円/年間

年間75万円の削減

「削減率20%」

テナント・飲食店舗

契約電力合計：20kVA

使用電力量合計：34,321kWh/年間

変更前電気料金合計：107万円/年間

変更後電気料金合計：92万円/年間

年間15万円の削減

「削減率14%」

戸建て個人住宅

契約電力合計：60A

使用電力量合計：4,773kWh/年間

変更前電気料金合計：13.7万円/年間

変更後電気料金合計：12.4万円/年間

年間1.3万円の削減

「削減率9.5%」

工場

契約電力合計：2MW

使用電力量合計：87,810,240kWh/年間

変更前電気料金合計：17億9,533万円/年間

変更後電気料金合計：16億4,153万円/年間

年間1億5,380万円の削減

「削減率8.6%」

学校法人

契約電力合計：179kW

使用電力量合計：144,732kWh/年間

変更前電気料金合計：487万円/年間

変更後電気料金合計：341万円/年間

年間145万円の削減

「削減率29%」

病院・福祉施設

契約電力合計：784kW

使用電力量合計：2,322,090kWh/年間

変更前電気料金合計：4,984万円/年間

変更後電気料金合計：4,421万円/年間

年間562万円の削減

「削減率11.3%」

お見積りに必要な検針票をご用意ください。

最低1カ月分の検針票をご用意ください。

※高圧電力及び低圧電力のお客様はご提出いただく検針票の月数が多いほど詳細な見積りとなりますので1年分をご用意する事をおススメします。

以下、検針票のイメージです。

このお知らせは、電気料金部が料金部・収納部・ストア部でこのお知らせを、お支払いできません。 お問い合わせ先/カスタマーセンター お引越し・ご契約に関するご用件 XXXX-XXXX-XXXX 停電・設備に関するご用件 XXXX-XXXX-XXXX	地点番号 00-0000-0000-0000-0000-0000		○○ ○○ 様	
	電気ご使用量のお知らせ			
	ご使用場所 XXXXXXXXXX		28年×月分	
	ご使用期間 ×月×日～×月×日 検針月日 ×月×日 (××日間)		契約種別 従量電灯B	
	ご使用量 XXX kWh		契約 00A	
	請求予定金額 (うち消費税等相当額)		当月指示数 前月指示数 差 計器乗率(倍) 取替前計量値 計器番号(下3桁)	
	基本料金 電力料金 ・1段料金 ・2段料金 燃料費調整額 再エネ発電賦課金		昨年×月分は××日間 ×× kWhです。 今月分は1日あたり ×%減少しています。 燃料費調整のお知らせ (kWhあたり) ×月(当月)分 ×月(翌月)分 翌月分は当月分に比べ	
	次回検針予定日 ×月×日			
	地区番号 00		お客さま番号 00000-00000-0-00	
	事業所コード(000)		検針員	

お客さまへのお知らせ

- ・左記電気料金は、クレジットカードによるお支払いとなります。
- ・クレジットカード会社の規定により、上記以外の方法でお支払いいただく場合がございます。
- ・当社は請求書および領収証を発行いたしませんので、クレジットカード会社から届く明細書をご覧ください。
- ・クレジットカード会社の締切日と当社の検針日の関係により、2ヶ月分の電気料金があわせてご請求となる場合がございます。

お客さま番号
00000-00000-0-00

東京電力エナジーパートナー株式会社
事業所コード(000)
お問い合わせ先
(カスタマーセンター)
お引越し・ご契約のご用件
XXXX-XXXX-XXXX
停電・設備に関するご用件
XXXX-XXXX-XXXX

新電力に関する良くある質問

Q1.電力会社を変えると新たに電線を引かなければならないのでしょうか？また、自分だけ停電が多くなる恐れはないのでしょうか？

A.今ある送配電網を使うので新たに電線を引くことにはなりません。また、電気そのものの品質や信頼性（停電の可能性など）は、どの会社から電気を買っても同じです。さらに、契約した電力会社が電気を調達できなかった場合でも、送配電網を管理する会社がその分を補給するので、ただちに電気の供給が止まることはありません。

Q2.賃貸住宅に住んでいますが、電力会社の切り替えはできますか？

A.現在契約している電力会社との契約名義がご本人の場合は可能です。他人名義のご契約になっている場合は、その方にご確認下さい。

Q3.マンションに住んでいますが、電力会社の切り替えはできますか？

A.マンションにお住まいの方も、電力会社の切り替えはできます。ただし、管理組合などを通じてマンション全体で一括して電気の購入契約を締結している場合には、その契約やマンション内の規約などで制限される場合があるので、管理組合等にご確認下さい。

Q4.契約した電力会社が倒産したら電気の供給は止まってしまいますか？

A.それによりただちに供給が停止することはありません。新たな供給元が見つかるまでの間は、各地域の電力会社（東京電力、関西電力等）から供給を受けることになります。